

## 本時のねらい

・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・動画を活用することで、客観的に自分たちの報告を分析することができ、より良い報告につなげる。  
・他のグループの動画とJamboardを併用することで、効率的に意見を集めることができる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Apple TV ・大型モニター ・学習支援アプリ（ロイロノート） ・Google Classroom ・Jamboard

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○単元目標、本時のめあてを確認する。 「グループで聞き手を意識した報告の練習をしよう」 ○前時で学習した話し方のポイントを再確認する。 ・声の大きさ、速さ ・声の強弱 ・間の取り方	・単元計画表（ロイロノート）を一覧にし、本単元の見通しを持つようにする。 ・教師作成のモデル動画を視聴させることで、話し方のポイントを具体的に理解させることができる。
展開 (35分)	○前時に撮影した報告動画を視聴し、修正点を探す。 【写真1】 ○他のグループと報告の見せ合い、アドバイスを元に報告動画を撮影する。 【写真2】 ○他のグループの動画を視聴し、Jamboardに意見を書き込む。 【写真3】	・動画視聴することで、聞き手側の視点をもって、報告を見せ、修正箇所を探すことができる。 ・相手のグループの報告を見る際に、「よかったところ」「アドバイス」のメモを取りながら、各グループの代表のタブレット1台を使用し、動画撮影を行う。 ・調査結果は児童がタブレットでまとめ、それを教師が拡大印刷しておく。 ・撮影した動画は、ロイロノートで提出させる。 ・事前にグループごとのJamboardシートを準備し、Google Classroomにリンクを貼付けておく。 ・Split View(画面分割)を活用して動画を視聴し、Jamboardで良かったところやアドバイスを中心に意見交流を行う。
まとめ (5分)	○Jamboardの書き込みを参考に、本時を振り返る。	・単元計画表（ロイロノート）に本時のふりかえりの一言を記入させることで、単元の過去のふりかえりを参考にすることができる。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 前時の動画を視聴し、修正点を探している場面



【写真2】 他のグループと報告を見せ合っている場面



【写真3】 他のグループの報告動画を見ながらアドバイス等を書き込んでいる場面

## 児童生徒の反応や変容

・グループでの動画撮影の際、動画の撮り方やカメラの位置、撮り始めの声かけなど自然にコミュニケーションを取り合い、活動することができていた。  
・他のグループの動画を視聴し、意見を共有するためにJamboardを活用することで、たくさんの意見を同時に書きこみ、閲覧できた。そのJamboardでの意見を参考に、よりよい報告へとつながることができていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・アナログとICTの効果性を考えながら学習場面を設定することで、児童間でのコミュニケーションが増え、活動への参加も意欲的になったと感じた。  
・Jamboardを使用中、書き込み内容が消えてしまうこともあったが、「みんな、このグループの意見を書いてあげよう！」と児童の自発的に助け合いをする姿が見られた。